

JAやまがた

1
2021
Jan.

広報紙 JAやまがた 2021 / 1月号 発行 / 山形農業協同組合 〒990-8535 山形市旅籠町1-12-35 TEL.023-641-3121 FAX.023-631-4714 http://www.jayamagata.or.jp/



03 新春対談

「JAやまがたサラダ大使」に 元アーティスト スイミング日本代表 青木愛さんを迎えて

12 旬の料理 たたきごぼう



JAやまがた
公式
Facebook



たたきごぼう

- 材料
- ごぼう…1本
- かつお出汁…約500cc
- 砂糖・しょうゆ…約小さじ1
- 【和え衣】
- 白ごま(ペースト)…約大さじ2
- いりごま…約大さじ1
- 粒山椒・砂糖・しょうゆ…約小さじ1

ワンポイントアドバイス

出汁を使った本格的なたたきごぼうです。ごぼうなどの根菜を茹でる際は、水から煮ることで、中までしっかり火が通ります。



伊藤圭太郎 / 懐石料理店「御りょう屋 伊藤」。和食の本場京都で修行し、習得した技術を用いて、山形の新鮮な食材を使った懐石料理を中心に提供しています。季節ごとに様々な料理が楽しめます / 山形市七日町4-10-16 / TEL.023-635-8010 / 12:00~13:00 18:00~23:00(L.O.20:30) 営業 / 定休 月曜 ※通常時の営業時間です



- 1 ごぼうを約3cmに切り、太い部分は縦に4等分、細い部分は2等分に切る。すりごぼうで筋が1本入るくらいまで叩き、水にさらす。
- 2 水から火にかけ、アクを取りながら、竹串が刺さるくらいのやわらかさになるまで約5分下茹し、軽く水にさらす。
- 3 鍋にごぼう、かつお出汁を入れ沸騰するまで沸かし、砂糖・しょうゆを加え、味を調整しながら約3分炊く。そのままよく冷ました後、ごぼうの出汁をキッチンペーパーで切る。
- 4 【和え衣】ペースト状の白ごまに③のごぼうを煮た出汁を約大さじ2程度、少しずつ加えながら混ぜる。いりごま・粉山椒・砂糖・しょうゆを入れて味を調整、ごぼうと和える。

オススメ読書



購読申し込み
経済課
TEL.023-624-8567



いちばんやさしい米粉のおやつ
小麦粉、卵、乳製品、白砂糖を使わない
グルテンフリーレシピ
今井ようこ 著
米粉で作る体にやさしいおやつレシピ。小麦粉・卵・乳製品は不使用だからアレルギーの人も安心。パンケーキやクッキーなどの洋風おやつから大福などの和のおやつまで。材料や工程も少ないから手軽に作れる！
定価(税込)1,540円



くるくる巻いてすぐに美味しい肉巻きレシピ
エダジュン 著
お肉と野菜をたっぷり使った「肉巻き」レシピ。短時間で簡単に作れるうえに見栄えや栄養バランスもバッチリ。巻き方のコツや素材の切り方も丁寧に解説。保存しておけばお弁当のおかずやおつまみにも使える！
定価(税込)1,540円



山形農業協同組合
代表理事組合長
岡崎輝明

あけましておめでとうございます。組合員並びに地域の皆様におかれましては、新年を穏やかに過ごしたことと拝察し、心よりお慶び申し上げます。また、常日頃より当JAの事業に対する格別のご理解とご協力を賜っておりますことに、あらためて感謝申し上げます。

さて昨年は中国武漢での感染判明後、新型コロナウイルスは瞬く間に世界に広がりWHOは3月に新型コロナウイルスのパンデミック表明を発しました。この未曾有の危機に対し当JAでは早速「対策本部」を立上げ、何よりも感染防止対策の徹底を協議してまいりました。日本の文化、生活様式がこの一年で大きく変化しながらJAやまがたとしても事業継続を確立しながら、業務は遂行していかなければなりません。

7月27日〜28日コロナ禍に追い打ちをかける豪雨災害が発生し土砂流入によるハウスの倒壊をはじめ、園芸作物にも大きな影響が出ました。住宅や農作業所の浸水等、罹災された58件の組合員の皆様に対しまして、お見舞いの対応を実施いたしました。また、被害を受けた皆様に対し、営農活動の継続支援として独自の天災資金の創設や出荷資材決済等の延長などの対策を実施しております。強風、降雹による被害は管内においても毎年のように発生しておりますが、今後も組合員の皆様の営農と生活をしっかりと護っていく所存であります。

管内においては、さくらんぼ・ぶどう・桃・りんご・きゅうり・なす・

トマト等、多くの品目のある農産物王国です。また、日本人の米消費量が減少する中、山形の米は全国そして世界に誇れる美味しさです。2021年産米の「生産の目安」は、山形県全体で前年産比7,500ト減の33万3,500トとなるものの、山形県産米は、高価格を維持する「つや姫」を中心に早期全量販売に向けて鋭意努力を致しております。20年県産米の一等米比率は94.8%と初の日本一となりました。良質米生産に情熱をささげた生産者に敬意を表するとともに今後もオール山形の一員として高品質米の生産のため支援してまいります。

今後も高齢化による担い手不足、労働力不足、農地面積の減少は大きな課題であり、担い手の減少に伴い経営規模が拡大する傾向は鮮明となりつつあります。しかし、農地を維持・管理し地域農業を守る上で、兼業農家や販売を行う自給的農家など、小規模農家は地域のコミュニティの根幹であります。寄り添える日本農業の確立に向け、大いなる力を発揮する事が必要となります。

「JAやまがた野菜ハウス団地」は若い担い手がきゅうり栽培に情熱を持ち大きな収穫を上げる事が出来ました。きゅうりに続くシャインマスカットと桃の団地化は産地ブランドとして大いに夢のもてる農産物となるよう更に知恵を絞ってまいります。

おいしき直売所落合店は3年目を迎えますが、お陰様で早朝より多くの皆様からご利用いただいております。直売所南館店、紅の蔵店も含め、組合員の皆様と地域の皆様とメンバーシップをはかる元気のある場所です。今年も皆様に愛される直売所として発信してまいります。

第七次経営刷新計画は最終年度の3年目となります。これまでの収益構造が大きく変化し、大変厳しい時代を乗り越えていかなければな

りません。当JAでは経営基盤の確立を目的とした未来プロジェクト会を発足し、今後のコロナの影響の分析と、信用、共済事業の利益が縮小する中において、JAやまがたとしての施策を示してまいります。組合員の皆様のご理解をいただけますよう丁寧にご説明してまいります。

JAグループでは「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向けた取り組み強化とそれを支える磐石なJA経営基盤の確立を基本目標に掲げております。農業はスマート農業による成長産業として期待されております。時代の要請に応えながらも、先人が築き上げたこの農業協同組合を、協同組合理念の原点に立ち返り、組合員目線のもと、その未来に希望と夢のもてる農業にしてい

くのがJAとしての責務であります。今年の方針は「うし」年です。私たちにあって牛は身近な生き物であり、命の源でもあります。一般に牛はマイペースな努力家でもあり一歩一歩ゆつくりと前に進む印象があります。現代社会においてはスピード感が求められますが、牛のようにゆつくり一歩一歩進むことも大切なかもしれません。

本店の近くにある湯殿山神社には「願い牛」が横たわっております。自分の体の悪いところと「願い牛」の同じところを触ることで良くなると言われております。健康は何よりの宝です。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

今年には明るい話題を提供し農業、JAにとって希望の持てる一年となるよう「全力前進」役職員ワンチームとなり、協同の力を発揮し取り組んでまいります。今後とも多大なるご協力をお願い申し上げます。結びに皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げ、新年のごあいさつと致します。

令和三年 元旦

新春対談 「JAやまがたサラダ大使」に 青木愛さんを 迎えて

JAやまがた管内の農畜産物をPRする

「JAやまがたサラダ大使」に元アーティスティックスイミング日本代表選手の青木愛さんを任命しました。

青木さんはテレビ朝日系列(山形県はYTS山形テレビ)で放送中の「朝だー生です旅サラダ」の

第8代旅サラダガールズを務めており、JAやまがたのきゅうりやトマト、

JA山形市の「山形セルリー」が栽培されている団地の総称「おいしいサラダ団地」との

「サラダ」繋がりを縁に任命。

このご縁を機に青木さんと岡崎輝明組合長の対談が実現しました。



岡崎輝明

Okazaki Teruaki
1953年生まれ。山形市南二番町で妻らと6人暮らし。
2013年代表理事専務、2019年5月代表理事組合長就任。
好きな言葉は「意思あるところに道は拓ける」

青木愛

Aoki Ai
1985年、京都府京都市生まれ。
地元の名門クラブ・京都踏水会で水泳をはじめ、8歳から本格的にシンクロナイズドスイミング(現名称・アーティスティックスイミング)に転向。
2008年、北京五輪出場し、チーム種目で5位入賞。
引退後は、メディア出演を通じてアーティスティックスイミングに限らず、幅広いスポーツに携わっている。



JAやまがた初の「サラダ大使」

岡崎 この度は「JAやまがたサラダ大使」をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。トップアスリートとして世界で活躍され、引退後もテレビへの出演、特に「旅サラダガールズ」として出演されているテレビ朝日系の「朝だー生です旅サラダ」は非常に評判のいい番組で私も楽しく見えています。お会いすることができて嬉しく思っております。どうぞよろしくお願いたします。

青木 こちらこそ、お招きいただきありがとうございます。どうぞよろしくお願いたします。

岡崎 青木さんは以前、「ライオンのグータッチ」という番組で山形市の姉が、「旅サラダ」では南国に行くことが多く、色んな海に行き、泳がせていただいています。ずっとブルブルしか見てこなかったで世界の海が見れるというのは嬉しいです。海は特にフィジーが綺麗でした。食べ物では、スイスのチーズがとても美味しかったです。

さくらんぼは大好物

岡崎 山形にも美味しい食べ物がたくさんありますので、ぜひ食べてください。山形と言えば「さくらんぼ」が有名ですが、好きですか。

青木 一番好きな食べ物がさくらんぼです。山形に呼んでいただいたから言うわけではなく、本当に小さい頃から大好きで「グータッチ」のシンク口指導で山形に来た時、山形シンク口クラブのコーチのさくらんぼ園地に行き、採れたてのさくらんぼをご馳走になりました。山形で食べる採れたてのさくらんぼは格別に美味しかったです。箱に並べられたさくらんぼは宝石みたいですね。

岡崎 旬の時期になりましたら、JAから贈りしたいと思っておりますので楽しみにしててください。青木さんは農業を体



弟にシンクロナイズドスイミング*(現・アーティストティックススイミング)の指導に来県されたと聞いております。山形県にはどんな印象を持っておられますか。

オリンピック出場を夢に

青木 山形県には20回以上来ています。番組のシンク口指導で1年に10回以上来た時もありますので、今回「サラダ大使」に任命していただき、山形にはご縁があるなと思っています。山形の印象は「さくらんぼが有名な、のどかな地域」そして「人が温かい」と来県するたびに感じます。

JAやまがたサラダ大使活動紹介

11月12日、本店で岡崎組合長より「山形の食の魅力幅広く発信してほしい」と委嘱状が手渡されました。青木さんは「一生懸命PRしていきます」と笑顔で応えてくださいました。任期は2021年5月末までです。



おいしさ直売所落合店、野菜ハウス団地でCM撮影を行いました。11月21日のYTS山形テレビ「HOT情報」、11月下旬より12月20日まで山形県内でおいしさ直売所のCMが放送されました。



青木さんのインスタグラムでもPRしていただきました。

験された時はありませんか。

青木 滋賀県に住んでいる友達繋がりで農家の方がいて芋掘りを手伝った時があります。さくらんぼ狩りはその場で食べる楽しさがあります。芋掘りが、芋掘りはとても大変でした。掘っても掘っても出てこなかったり。これを毎日、仕事としてやられているのはすごく大変だなと感じましたし、みんなが美味しいものを食べるために汗水流してやってくださっていると思うとありがたいなと思いました。

私たちの食を支えている農家の皆さんに感謝

岡崎 農家の皆さんは予期せぬ自然災害や気象環境が影響し、良質な農畜産物を生産するには技術を要し、大変な苦勞をされています。青木さんからメッセージをいただきますか。

青木 私たちが普段から安心安全な美味しい農畜産物を食べているというのは農家の皆さん

ピックに出ると決めていて、それを達成するためだけに続けていました。

岡崎 シンク口の指導で有名な井村雅代コーチは大変厳しいイメージですが、実際コーチと選手との関係はどうだったのですか。



です。ね。また、食事はアスリートにとってもとても重要だと思います。どういふところに気をつけていましたか。

青木 私はやせる体質でしたので、時間があれば食べるという感じでした。但し、なんでもいから食べてカロリー摂取するのではなく、炭水化物・タンパク質・脂質・カルシウム・ビタミンなど全部バランス良く、栄養士さんから言われているカロリーを摂取しなくてははいけませんでした。

「旅サラダガールズ」として世界中をレポート

岡崎 シンク口を引退されてからのご活躍も素晴らしいですね。「朝だー生です旅サラダ」では、色んなところへ行かれたと思いますが、特に印象に残っている場所、食べ物はありませんか。

青木 自然が多くて綺麗だなと思ったところはスイスです。空気がすごく澄んでいて本当にアルプスの少女ハイジの舞台のようになっています。スイスだけ山でした

んのおかげです。近年は自然災害も多く、特に今年はコロナ禍のなか、大変な苦勞をされていると思います。今後も体調に気をつけながら頑張ってください。

岡崎 青木さんからのメッセージは農業者の皆さんの励みとなると思います。最後に青木さんが今後目指していることがあればお聞かせください。

青木 東京オリンピックが開催されれば、シンク口に限らずスポーツの魅力や元アスリートとして伝えていけたらいいなと思っています。また、写真を撮られる仕事もやっていて楽しいので、モデルの仕事にも興味があります。

岡崎 青木さんのご活躍楽しみにしています。

我々も山形から美味しい農畜産物を生産し消費者の方にお届けするのが使命だと思えますし、青木さんには機会が

元アーティストティックススイミング日本代表
青木愛さんの直筆サインを3名様にプレゼント!

応募方法 「JAやまがた広報係」まで下記のいずれかの方法でご応募ください。応募者の「氏名、住所、電話番号」も忘れずにご記入ください。

■郵便ハガキの場合
〒990-8535 山形市旅籠町一丁目12-35
「JAやまがた広報係」行

■Eメールの場合
kikakukanri@jayamagata.or.jp

*対談は2020年11月12日 山形市の「四山楼」で行いました。

山形市新春 農業講演会のご案内

入場無料
申込不要

直接会場に
お越しください

● 演題 これからの 自立した農業について

- 講師
遠藤農園（山形県高島町）
代表 遠藤 五一 氏
- 日時 令和3年1月21日（木）
13:30～15:30
- 場所 山形市農業研修センター
（山形市東古館145）

お問い合わせ

山形市農政課
TEL.023-641-1212

（一社）山形市農業振興公社
TEL.023-644-1622

組合員資格の 確認について

組合員資格に変動があった場合は、当JAの定款に基づき資格変更の手続きを行いますので、最寄の本店、支店へお申し出ください。

お問い合わせ
経営管理部 総務課
TEL.023-641-3121

家畜を飼っている方へ

家畜を1頭・1羽でも飼っている方は、毎年2月1日現在の飼育頭羽数などを県に報告する必要があります。

前年に報告された方には、1月末に用紙が送付されますので、頭羽数等に変更がある場合は修正の上、令和3年2月12日（金）までに、中央家畜保健衛生所へ郵送またはFAXで送付してください。

新たに飼育を始めた方や、飼育しているのに用紙が送付されなかった方は、お手数ですが当所へご連絡ください。

お問い合わせ 山形県中央家畜保健衛生所
TEL.023-686-4410 FAX.023-686-5715
〒990-2161 山形市大字漆山736

対象となる家畜の種類

牛、水牛、鹿、めん羊、山羊、馬（ポニー含む）、豚（ミニ豚含む）、猪、鶏（烏骨鶏、チャボ含む）、うずら、あひる（カモ含む）、きじ、だちょう、ほろほろ鳥、七面鳥

出荷証明書の配布について

出荷証明書の配布時期については、令和3年1月25日（火）に本店から支店に送付させていただきます。

お問い合わせ
本店 営農経済部
TEL.023-624-8562

理事会だより

今回の報告・協議された項目から抜粋して掲載しています。

● 報告事項 第10回理事会（11月27日開催） 内容より

- 令和2年度上半期ディスクロージャー誌の縦覧等にかかる対応
- 役員部門別専門委員会委員の選任（後期）
- 令和2年度JA共済コンプライアンス点検結果および改善方針の概要
- 令和2年度産米集荷状況
- 令和2年度園芸大園やまがた産地育成支援事業
- 及び園芸大規模集積団地整備支援事業入札会の報告
- 協議事項
令和2年度上期定期監査の個別改善意見に対する回答書
- 山形県農業信用基金協会に対する増資

役員より vol.19



理事
渡邊洋二

JAの目指すこと

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様、関係各位におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスが日本中で猛威を振るい、非常事態宣言が出され、ソーシャルディスタンス、PCR検査など、社会のあらゆる面に影響を及ぼしました。また、県内を襲った記録的な大雨は、農作物にも大きな被害が出ました。

さて、今年は1年延期となった東京五輪の年です。無事開催されますことを祈っております。ここで、私たちJAの目指すものとしてJA綱領5項目があります。

- 地域の農業を振興し、我が国の食と水と緑を守る。
- 環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築く。
- JAへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現。
- 自主・自立と民主的運営の基本に立ち、JAを健全に経営し信頼を高める。
- 協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求する。

この綱領と共に組合員の皆様方の熱いご支援・ご協力とご理解をよろしくお願い申し上げます。

JAやまがた令和2年分確定申告相談会の開催について

東北税理士会より派遣税理士を招いて確定申告（所得税・消費税等）相談会を開催します。

※新型コロナウイルスをはじめとする感染症の予防を徹底し、ご来場の皆様の健康を確保するため、**本店会場のみでの開催とさせていただきます。**

※派遣税理士の検証を受けない確定申告書等は受理することはできません。

※消費税の申告は簡易課税のみの受付となります。

お問い合わせ 資産サポート部
TEL.023-624-8258

開催日	対象支店	会場
2月 4日（木）	東金井支店	本店 202 203 会議室
2月 5日（金）	東金井支店	
2月 8日（月）	東金井支店・ひまわり支店・山辺支店	
2月 9日（火）	天神支店	
2月12日（金）	高楯支店	
2月15日（月）	譲渡所得申告対象者	
2月16日（火）	鈴川支店・本店・譲渡所得申告対象者	
2月17日（水）	宮浦支店・西部支店・南館支店	
2月18日（木）	山形南支店・蔵王支店	
2月19日（金）	上山北支店・上山南支店	
2月22日（月）	滝山支店・さくら支店	
2月24日（水）	千歳支店	
2月25日（木）	千歳支店	

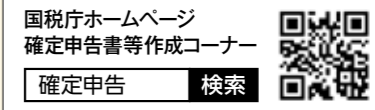
山形税務署からのお知らせ

1 確定申告書は、ご自宅でスマホやパソコンを利用して作成することができます！

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、ご自宅でスマホやパソコンからいつでも利用可能な

国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」の利用をお勧めします。また、このコーナーで作成した確定申告書は、①e-Taxで送信できるほか、②印刷（白黒でも可）して郵送等により提出することもできます。

※なお、e-Taxで送信する方法には、①マイナンバーカードと対応スマホ（又はICカードリーダライタ）を利用する方法と、②事前に税務職員と対面による本人確認を行った後に発行されたIDとパスワードを利用する方法があります。



2 申告書作成会場について

申告書作成会場を山形駅西口「山形テルサ」に開設します。（税務署内には申告書作成会場を設置していません。）

（1）開設期間 令和3年2月3日（水）～令和3年3月15日（月）

《土、日、祝日等を除く。ただし、2月21日（日）及び2月28日（日）は開設します。》

※申告書作成会場の混雑緩和のため、会場への入場には「入場整理券」が必要となります。「入場整理券」は各会場での当日配布とLINEによる事前発行があります。配布方法の詳細は、別途国税庁ホームページ等によりお知らせします。

※申告書作成会場の駐車台数には限りがありますので、公共交通機関等をご利用ください。また、会場駐車場の駐車料金は有料です。※ご来場の際には、できる限り少人数でお越しください。

（2）開設時間 午前9時から午後4時

※申告書作成会場（アブローズ）は午前8時30分開場です。※入場整理券の配布状況によっては、後日の来場をお願いする場合があります。

3 申告期限及び納付期限等

（1）申告期限及び納付期限

所得税及び復興特別所得税、贈与税・・・3月15日（月）まで

個人事業者の消費税及び地方消費税・・・3月31日（水）まで

（2）口座振替をご利用の場合の振替納付日

所得税及び復興特別所得税・・・4月19日（月）

個人事業者の消費税及び地方消費税・・・4月23日（金）

申告と納税は
期限内に！

お問い合わせ 山形税務署 山形市大手町1-23 TEL.023-622-1611

確定申告等に対する一般的な相談については、電話相談センターでお答えします（音声案内で0番を選択）。電話相談センターには、東北税理士会の会員税理士にも従事いただいております。

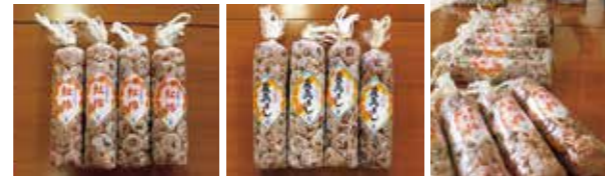


12月10日(木) 上山市特産 干し柿共励会

南部営農センター干し柿部会は、南部営農センターで干し柿共励会を開きました。红柿の部に16点、蔵王つるしの部に13点が出品され、県村山総合支庁や上山市、JA全農山形職員、当JAの稲毛泰一専務が白粉の吹き具合、粒の揃い、色、詰め方などを審査した結果、どちらの部も大澤裕司さんが最優秀賞に輝きました。県村山総合支庁の鈴木雅満主任専門普及指導員は「今年の干し柿は糖度も高く、乾燥状態も良い高品質な仕上がりとになっている。出品されたものも生産者の技術の高さが出ていた」と講評されました。

■红柿の部
最優秀賞 大澤裕司さん
優秀賞 山田久雄さん
優賞 秋葉長一郎さん、秋葉栄史さん

■蔵王つるしの部
最優秀賞 大澤裕司さん
優秀賞 秋葉栄史さん
優賞 秋葉悦子さん、木村勇さん



12月4日(金) 受験生を応援 「合格リンゴ」プレゼント!

青年部東金井支部は、高校受験を控えた地元中学生を応援するため、山形市立金井中学校の3年生164人に「合格祈願」と色抜きされたリンゴ「ふじ」を贈りました。リンゴは同市東志戸田の園地で栽培され、支部員が色抜きシールを貼る作業や収穫をしました。新型コロナウイルス感染症防止の観点から、支部員3人が同校を訪れ校長室でクラス代表の生徒にリンゴを手渡しました。クラスで一人ひとりに配られたあと、安達峻祐支部長が「支部員みんなで心を込めて生産し、ご祈願を受けたとてご利益のあるリンゴ。このリンゴを食べてしっかり力をつけ受験勉強を頑張してほしい」と校内放送でエールを送りました。



リンゴは11月30日に高畠町の亀岡文殊堂へ持ち込み祈願を受けました。合格リンゴの贈呈は今年で18回目です。

11月26日(木) 戸井和久さんを招いて 特別講演会



イトーヨーカ堂の元社長兼最高執行責任者&COCで現在はJA全農チーフオフィサー(CO)を務める戸井和久さんの特別講演会を本店で開催しました。当JAと(株)ジェイエイあぐりんやまがたの役職員ら約60人が出席しました。戸井さんは「世の中の変化と今後の農畜産物流通」と題し、日本の人口が減少する一方で高齢者と世帯数が増加している現状と新型コロナウイルスによる生活の変化に対応した事業に取り組むことが必要であることなど、事例を紹介しながら講演されました。岡崎輝明組合長は「いち早く時代の変化を読み取り、スピード感を持って活動することが重要。JAやまがたブランドをさらに飛躍させるため、この講演を通じて学び得て活動していこう」と参加者に呼びかけられました。

11月4日(水)~18日(水) 2市2町へ カーブミラー寄贈

JA共済連山形の交通事故防止対策事業の一環としてJA管内2市2町にカーブミラーを28基寄贈しました。

岡崎輝明組合長が2市2町を訪問し「地域の交通事故防止に役立ててほしい」と目録とカーブミラーのレプリカを手渡しました。市長・町長は「カーブミラーは老朽化しているところもあり、毎年寄贈いただき大変助かっている。事故防止のため有効に活用させていただく」と話していました。

寄贈は1973年から行われ、2市2町への総寄贈数は今年のもも含め、1,569基になります。



11月12日(木) リンゴ盗難を防ごう! 夜間パトロール

中央果樹組合はリンゴ「ふじ」の盗難を未然に防ぐため、山形市明治地区を約45分、夜間パトロールしました。生産者3人と山形警察署漆山駐在所の芳賀直彦巡査部長、JA中央営農センター職員が同行し、JAと警察の車両で園地周辺を巡回する他、途中で車を降り、懐中電灯や車のライトで園地を照らしながら、不審な人影や車両がないか注意深く確認しました。

芳賀巡査部長は「生産者、JAと協力して盗難防止に努めることは効果があると感じている。今後も共に連携して農作物を盗難からしっかり守っていき」と話し、同組合の庄司佐吉副組合長は「パトロールを通して警戒を呼び掛け、美味しいリンゴをたくさん消費者に届けたい」と気を引き締めていました。



同組合は10日に羽田地区、11日に大郷地区、東金井地区でも夜間パトロールを実施しました。

10月31日(土) 県産の食肉を味わおう! 肉フェス感謝祭



山形県食肉公社は「総称山形牛」と県産銘柄豚の消費拡大と生産者を応援し、おいしい県産の食肉を多くの方に味わってもらうため、山形市の山形国際交流プラザで「肉フェス感謝祭」を開きました。

厚生労働省の新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づき、入場時間を3回に区切り実施。来場希望者は事前にはがきで申し込み応募方式で来場者数を制限しました。

販売コーナーでは山形牛サーロインステーキや豚バラベーコン、牛・豚のホルモンなど、軽食コーナーではモツ煮や芋煮、ウインナー焼きなどが販売されました。

10月17日(土) 秋のごちそうが 勢ぞろい

山形市と市農業振興協議会は、市産の畜産物PRと消費拡大を目的に、第20回山形市農畜産物フェスティバルを市内の県民ふれあい広場で開催しました。

おいしさ直売所からは地元産のぶどう「シャインマスカット」やリンゴ、伝統野菜の里芋「悪戸いも」や食用菊をはじめとした旬を迎えた果物や野菜を販売しました。花や牛肉、新そばなどを販売するブースもあり、多くの人で賑わいました。また、市酪農まつりコーナーでは子ども達が生クリームの入った容器を振りながら、バターづくりを楽しんでいました。



新型コロナウイルス感染症防止のため、試食の提供は中止して実施しました。

読者の広場

1月号のテーマ

冬休み

● 学生の時、冬休みは楽しみでしたが、今は冬休みなんてない。仕事に掃除ばっか。昔に戻りたい。コロナでどこにも行けないなか、クロスワードさいこ〜。(山形市 Sさん)

● 大人になって長期休みはありませんが、私は今でも冬休みの時期はワクワクします♪クロスワード楽しんでいただきありがとうございます!

● 青菜漬は小さい頃、ばあちゃんが漬けてくれたのを食べていたけど、山形青菜という伝統野菜なんです。私は作った経験がなく購入するばかりですが、この季節になると食べたくなります。(山形市 Oさん)

● 県外では「青菜」を知らない方も多いようです。青菜漬もみ漬もとても美味しいので、もっと有名になるといいですね!

● 上山駅ホームに降りた観光客の皆さんは「つるし柿」を見て、このまま食べられるのかなとジッと見てます。私は「白い粉を吹いて、とても甘くなるんですよ。とても高価ですし、目にもいいんですよ」と説明してあげます。(上山市 Oさん)

● 冬は干し柿を食べながら緑茶を飲むのが至福のひとつです。干し柿でクリームチーズを巻いたスイーツも美味しいです!

息抜き

クロスワード

あみがけの■部分に入る文字を並べ替えて言葉を作りましょう。



1	2			3
			4	
5		6		
		7		8
9				

→ヨコのカギ

- 6本の弦を張り、指や爪で弾いて音を鳴らす楽器。
- 水に浮かぶように作った乗り物。
- 歩くときに立てる音。
- 空気を入れ替えること。
- 焼酎に蒸したもち米と米麹を加えて醸造させた酒。調味料。

↓タテのカギ

- 物をこすって洗うためのもの。
- 3年上の女のきょうだい。
- 寝るときや座るときに使うもの。
- 歩くこと。足並み。
- 全身がゾクゾクする寒気。
- 相手の人を指す言葉。あなた。

当広報紙へのご意見・ご感想に加え、テーマに関するエピソード・写真・絵葉書なども募集しています。

● 応募方法 / 「JAやまがた広報係」まで下記のいずれかの方法でご応募ください。応募者の「氏名、住所、電話番号」も忘れずにご記入ください。

2月号のテーマ

年末年始

郵便 〒990-8535 山形市旅籠町一丁目12-35

Eメール kikakukanri@jayamagata.or.jp

● 締切 / 1月25日(月) (当日消印有効)

● プレゼント / 「クロスワード」正解者、またはご意見、ご感想を下された方の中から抽選で3名の方に「おいし直売所商品券」1,000円分をプレゼント。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

12月号のクロスワード答え: みかん



あとがき

「2020年産、山形県産米の1等米比率が初の全国1位」という、とても嬉しいニュースがありました。全国的な天候不順で栽培管理に苦勞されるなか、山形県の高い栽培技術と生産者の努力が良質米の生産を支え、実を結んだと思います。お米の消費量も山形県が日本一となるよう、たくさん食べて生産者を応援していきたいです!

福祉センター青田 健康コラム vol.75



冬に起こる『かくれ脱水』をご存知でしょうか?

“脱水”というと、夏のイメージが強いかもしれませんが、冬でも脱水症を起こしてしまう可能性があります。冬の脱水が生じる原因は、「体の周りの環境(外的環境)」と「体の内側の環境(内的環境)」に分かれています。

外的環境とは…

空気の乾燥があげられます。冬場は暖房器具を使用する為、湿度が下がってしまいます。乾燥した環境では、皮膚や粘膜、呼吸から、特に自覚がなまま水分が失われる『不感蒸泄』が増えます。

内的環境とは…

冬は体感温度が低く、喉の渴きを感じにくくなっている為、夏場よりも水分摂取量が減りがちです。「体を冷やしたくない。」などの理由で水分を控える場合があります。

このように、外気の乾燥による不感蒸泄の増加と水分摂取量の減少が、同時に起こりうる冬は、日常的に脱水のリスクと隣り合わせなのです。

脱水症は早めの予防と対処が大切です。運動時の発汗だけでなく、季節による気温変化などさまざまな要因でも起こりうる症状です。冬だからといって油断することなく、こまめな水分補給を心がけて快適な冬生活を送りましょう。

12月の通所介護



JA移動販売

佐藤理事より野菜の贈り物



鏡恵子理事よりいただいた柿で干し柿作り

創作教室(ほっこりコースターづくり)

お問い合わせ 福祉センター青田 TEL.023-616-8002

介護サービス事業 / 通所介護・訪問介護・福祉相談窓口

組合員の皆様へ JAグリーンカード ポイント期限のお知らせ

この度、グリーン店舗全店において、令和3年3月14日(日)より新機器導入に伴い新ポイントサービスを開始いたします。

これまでご利用いただいておりますグリーンカードポイントにつきましては、誠に勝手ながら令和3年3月12日(金)をもって終了させていただきます。



貯まったポイントは 令和3年3月12日(金)までにご利用をお願いします。13日以降、旧ポイントはゼロになりますのでご注意ください。 ※カードはそのままご利用頂けます。

ご不明な点がございましたら各グリーン店へお問い合わせください。

11月10日

ジャンボキャベツコンテスト 優勝 前田信雄さん

中央営農センターでジャンボキャベツコンテストの表彰式が行われました。18人の出品者の中から、山形市内表の前田信雄さんが優勝に輝きました。

前田さんは「優勝できて嬉しい。7月の長雨など野菜にとって難しい気候だった。畑の排水、追肥作業をし、大きく育てました。目標の10kgには届かなかったが、今後もこうした技術を野菜づくりに生かしていきたい」と喜びを話してくださいました。



ジャンボキャベツ

- 第1位 前田 信雄 さん (9.10kg)
- 第2位 酒井 春美 さん (8.30kg)
- 第3位 佐藤 茂男 さん (7.35kg)
- 第4位 渡辺 浩司 さん (7.25kg)
- 第5位 丹野 勝巳 さん (6.85kg)

出品されたジャンボキャベツは同市の総合福祉施設いきいきの郷に贈呈され、施設内に展示された後、スープの具材として使用され、利用者が味わうとのことです。

日本政府の海外広報誌「Highlighting JAPAN」に 山辺町の『大蔵の棚田』が紹介されました

山形県山辺町大蔵棚田「グループ農夫の会 中地区有志の会」ホームページからご覧いただけます。

<https://www.group-nofunokai.jp/>

